

JR東労組 サークルNEWS

2017年12月18日

第 1 3 号

東日本旅客鉄道労働組合
サークル協議会

発行責任者：矢島 敏幸

編集者：野中 広俊

仲間のために、地本を超えた 交流・連帯は強固な団結をつくる！ JR東労組結成30周年記念 第26回バドミントン大会

11月16～17日、八王子地本準備のもと、山梨県南アルプス市櫛形総合体育館で120名が参加し、第26回バドミントン大会が開催されました。開会式の中では山口書記長から、年末手当の回答指定日という事もあり、JR東日本の経営状況から私たちを取り巻く情勢について講演をいただきました。大会は3ブロックの5ダブルス1チーム（3ダブルス目は40歳以上または女性のペア）に分かれて開催され、初心者でも楽しめる大会をつくってまいりました。夜の大会では各地本の名産品を持ち寄り、名産品ドラフト会議を開催。横浜地本「シュウマイ」に1位指名が集中いたしました。大会中、高崎で発生している理不尽な転勤問題に対して全参加者で檄布を取組み、高崎地本の仲間へ手渡しました。バドミントンを通じて、地本の垣根を越え強固な団結をつくりあげました。来年は高崎地本が主管で開催する予定ですので、組合員の多くのご参加をお待ちしております。

